

## 「げんばのにほんご 口頭能力評価ツール」 会話サンプル・評価のポイント

「げんばのにほんご 口頭能力評価ツール」のロールプレイを実際に行った際の音声(会話サンプル)を公開しています。この資料では、会話サンプルを文字化したものと評価のポイントとともに、評価結果を示しています。実際にこのツールを使って評価を行う際の参考にしてください。

この口頭能力評価ツールは、評価結果表にもある通り、「日本語教育の参照枠<sup>1</sup>」の「話すこと(やりとり) A1<sup>2</sup>」のレベルが前提にあります。

| 日本語教育の参照枠 (Lv.) |    |  |
|-----------------|----|--|
| 熟達した<br>言語使用者   | C2 | 日本語教育の参照枠 話すこと「やりとり」 レベルA1   |
|                 | C1 | Framework of Reference for Japanese-Language Education, Speaking: "Interaction," Level A1  |
| 自立した<br>言語使用者   | B2 | 相手がゆっくり話し、繰り返したり、言い換えたりしてくれて、また自分が言いたいことを表現するのに助け船を出してくれるなら、簡単なやり取りをすることができる。直接必要なことやごく身近な話題についての簡単な質問なら、聞いたり答えたりできる。  |
|                 | B1 |  |
| 基礎段階の<br>言語使用者  | A2 |  |
|                 | A1 | Can engage in simple interactions if the other person speaks slowly, repeats or rephrases things, and helps the speaker express what they want to say. Can ask and answer simple questions about things directly related to their needs or very familiar topics. |

ここでいう「相手」とは、この試験においては評価者、実際の現場においては指導員のことです。A1レベルというのは、その人たちが「ゆっくり話す」「繰り返す」「言い換える」「助け船を出す」ことで、実習生は「直接必要なこと」や「ごく身近な話題」についてなら、簡単なやり取りができるというレベルです。つまり、相手がかなり協力的であり、話せる範囲は限定的であるということ。評価を行う際も、このレベルを念頭に置くとよいでしょう<sup>3</sup>。

<sup>1</sup> 「日本語教育の参照枠」については、下記のサイトが参考になります。(2026年3月現在)

<https://www.nihongo-ews.mext.go.jp/information/framework-of-reference>

<sup>2</sup> 「日本語教育の参照枠(報告)」p.23 言語活動別の熟達度より

<sup>3</sup> このツールは、評価を容易に行うため、行動目標が達成できたかどうかのみを測ります。そのため、文法や語彙などの能力を細かく測っていません。そういった能力がA1レベルでどのぐらいなのか知りたい場合は、「日本語教育の参照枠」の能力Can do(p.55~)を参照してみてください。

# 目次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| タスク①-1 会話サンプル1 評価4(素晴らしい) ..... | 3  |
| タスク①-2 会話サンプル2 評価4(素晴らしい) ..... | 4  |
| タスク②-1 会話サンプル3 評価3(できた) .....   | 5  |
| タスク②-2 会話サンプル4 評価2(もう少し) .....  | 6  |
| タスク③-1 会話サンプル5 評価2(もう少し) .....  | 7  |
| タスク③-2 会話サンプル6 評価2(もう少し) .....  | 8  |
| タスク④-1 会話サンプル7 評価4(素晴らしい) ..... | 9  |
| タスク④-2 会話サンプル8 評価3(できた) .....   | 10 |

問い合わせ先

外国人技能実習機構

企画・製作

外国人技能実習機構委託事業

一般財団法人海外産業人材育成協会 (AOTS)

作成 2026年3月

## タスク①-1

### 行動目標(Can do)

指導員の指示や説明がわからないとき、もう一度言ってほしいとお願いできる。

★このタスクで引き出すことは、「再度言ってほしいとお願いする」こと。

### ロールカード

指導員が今日の作業について説明をしています。あなたは聞き取れなかったので、もう一度聞きたいと思っています。指導員にお願いしてください。

### 会話サンプル1【評価4】

評価者 : 今日はまず掃除をして、それから新しい機械について勉強しましょう。

受験者 : …すみません。あの、もう一度、お願いします。…A

評価者 : はい。今日はまず掃除をしてください。

受験者 : はい。わかりました。

評価者 : それから、新しい機械について勉強しましょう。

受験者 : はい。わかりました。

Aで「再度言ってほしいとお願いする」ことができ、行動目標が達成できた。

⇒評価は4段階中の4(すばらしい)。

## タスク①-2

### 行動目標(Can do)

指導員の指示や説明がわからないとき、もう一度言ってほしいとお願いできる。

★このタスクで引き出すことは、「再度言ってほしいとお願いする」こと。

### ロールカード

指導員が今日の作業について説明をしています。あなたは聞き取れなかったので、もう一度聞きたいと思っています。指導員にお願いしてください。

### 会話サンプル2【評価4】

評価者 : 今日はまず工場の掃除をして、えー、それから新しい機械の使い方について説明します。

受験者 : あ、すみません。えーっと、あ、さっき、聞こえないから、  
ちょっともう一度、いただけませんか。…B

評価者 : はい。今日は、まず工場の掃除をしてください。

受験者 : はい。わかりました。(ありが) とうございます。

評価者 : それから、新しい機械について説明します。

受験者 : はい。(おねがい) します。

評価者 : わかりましたか。

受験者 : はい、わかりました。

B で出てくる「もう一度、いただけませんか」という表現は正しくない。A1 レベルということを考慮したうえで、「聞こえない」などからも受験者からの訴えが相手に伝わると判断できる。

⇒評価は4段階中の4(すばらしい)。

なお、この評価ツールでは、文法について細かい評価をしていないので、受験者には正確な表現をロールプレイ終了後にフィードバックするか、評価表にコメントを書いて伝える。

## タスク②-1

### 行動目標(Can do)

表示の意味を尋ね、聞いたことを復唱して理解を示すことができる。

★このタスクで引き出すことは、「意味を尋ねる」と「復唱する」こと。

### ロールカード

あなたは指導員と作業場にいます。指導員に表示の意味を尋ねてください。そのあと、指導員の説明でわかったことを復唱して理解を示してください。

### 会話サンプル 3 【評価3】

評価者 : 工場にはいろいろな表示があります。これ[イラストの中の表示]、わかりますか。

受験者 : すみません。これは意味はわからない。これ、意味わからない。

しつもん、しつめい（説明？）してもいいですか。…C

評価者 : はい。これは火気厳禁です。火を使ってはいけません。わかりましたか。

受験者 : はい、わかりました。…D

評価者 : 火を使わないでください。

受験者 : あー…これは、あー…、火、火を使わないでという意味です。…E

評価者 : はい。そうです。

Cで「意味を尋ねる」ことができたが、Dで復唱ができなかった。そこで評価者は「火を使わないでください」という再度言うことで、「復唱する」ことを引き出そうとした。その結果、Eで「復唱する」ことができた。行動目標は、多少評価者の手助けがあったが、達成はできた。

⇒評価は4段階中の3(できた)。

## タスク②-2

### 行動目標(Can do)

表示の意味を尋ね、聞いたことを復唱して理解を示すことができる。

★このタスクで引き出すことは、「意味を尋ねる」と「復唱する」こと。

### ロールカード

あなたは指導員と作業場にいます。指導員に表示の意味を尋ねてください。そのあと、指導員の説明でわかったことを復唱して理解を示してください。

### ■会話サンプル 4 【評価 2】

評価者 : 工場にはいろいろな表示があります。これ[イラストの中の表示]を見てください。

受験者 : すみません。これは何と読みますか。…F

評価者 : これは火気厳禁です。

受験者 : ああ。火気厳禁、ですね。…G

評価者 : はい。そうです。

受験者 : はい。わかりました。

評価者 : これ、意味はわかりますか。

受験者 : …意味は、わかりません。…H

評価者 : あ、そうですか。この意味は「火を使わないでください」、です。

受験者 : あ、はい。わかりました。

F で、意味ではなく、漢字の読み方を尋ねている。これは評価対象にならない。G で、「復唱する」ことはできた。意味については評価者から「これ、意味はわかりましたか」と言い、「意味を尋ねる」ことを引き出そうとしたが、H のような反応しかなく、受験者が「意味を尋ねる」ことはできなかった。

⇒評価は4段階中の 2(もう少し)。

### ※タスク 2 実施上の留意点

このタスクのイラストには倉庫の壁に「火気厳禁」と書かれている。サンプル収集時は漢字表記のみのイラストを提示していた。そのため、漢字の意味ではなく、読み方を尋ねる受験者が多くいた。

公開しているタスクカードのイラストには「火気厳禁」に振り仮名をつけ、読み方に意識が向かないようにした。

## タスク③-1

### 行動目標(Can do)

作業時の服装について、質問したり、確認したりすることができる。

★このタスクで引き出すことは、「問題ないか、確認する」と「質問する」こと。

### ロールカード

あなたは作業を始めるまえに服装を整えています。指導員の指示を聞いて、着用し、問題ないか確認してください。最後に、ヘルメットをかぶるかどうか、指導員に質問してください。

### 会話サンプル 5 【評価 2】

評価者 : えー、作業着を着たら、手袋をして。

受験者 : はい。 …I

……あ、すみません。えーとー、ヘルメット(を?) かぶりますか。 …J

評価者 : はい、かぶってください。

受験者 : はい。わかりました。

I では、「問題ないか、確認する」ことができなかった。J では、ヘルメットをかぶるかどうか「質問する」ことができた。

⇒評価は4段階中の 2(もう少し)。

### ※タスク 3 実施上の留意点

この受験者は「げんばのにほんご」の教材で学習をしていない実習生だった。教材では、「これでいいですか」と聞く会話を学習することができるため、教材で学んでいる人であれば、問題ないか確認する際の表現を理解し、使用できた可能性がある。

## タスク③-2

### 行動目標(Can do)

作業時の服装について、質問したり、確認したりすることができる。

★このタスクで引き出すことは、「問題ないか、確認する」ことと「質問する」こと。

### ロールカード

あなたは作業を始めるまえに服装を整えています。指導員の指示を聞いて、着用し、問題ないか確認してください。最後に、ヘルメットをかぶるかどうか、指導員に質問してください。

### 会話サンプル 6 【評価 2】

評価者 : えー、作業着を着たら、手袋をして。

受験者 : はい。手袋を、です。 …K

評価者 : 手袋をしましたか。

受験者 : …手袋をしました。 …L

評価者 : はい。

受験者 : んー…、こーのーヘルメットは、んー、かきますか。 …M

評価者 : はい、かぶってください。

K で、「手袋を、です」と言ったが、それは確認なのか定かではなかったため、評価者から「手袋をしましたか」と尋ね、受験者からの確認を引き出そうとした。しかし、L のように事実のみを答えるだけだった。そのため、「問題ないか、確認する」ことはできないと判定した。

M で、「ヘルメットは、んー、かきますか」となっていて「かぶります」の誤りである。ただし、文脈や状況からも「かぶる」と言いたいことが会話相手に伝わる(A1 レベルということも考慮)。「質問する」ことはできたと判定した。

⇒評価は4段階中の 2(もう少し)。

### ※タスク 3 実施上の留意点

この受験者は「げんばのにほんご」の教材で学習をしていない実習生だった。教材では、「これでいいですか」と聞く会話を学習することができるため、教材で学んでいる人であれば、問題ないか確認する際の表現を理解し、使用できた可能性がある。

## タスク④-1

### 行動目標(Can do)

緊急事態が発生したときに、周囲に知らせることができる。

★このタスクで引き出すことは、「周りの人に助けを求める」と「状況を説明する」こと。

### ロールカード

あなたは作業場で作業をしています。同僚のワンさんがけがをしました。大きい声で指導員に助けを求めてください。それから、指導員に状況を説明してください。

※あなたから会話を始めてください。

### 会話サンプル7【評価4】

受験者 : あのう、鈴木さんは…ワンさんは、助けて。助けてです。 …N

評価者 : 大変ですね。どうしたんですか。

受験者 : あのう、ワンさんは、あのう……

評価者 : あ、ワンさ

受験者 : 頭、頭が痛い。 …O

評価者 : そうですか。じゃ、そのままにしてください。

受験者 : はい、わかりました。

N で、「周りの人に助けを求める」ことができた。「助けてです」は文法的に正しくないが、助けを求められていることは会話相手に伝わる(A1 レベルということも考慮)。評価者の「どうしたんですか」という問いに対して、O で「状況を説明する」ことができた。評価者が途中で助け舟を出そうとしたが、それは必要なかった。⇒評価は4段階中の4(すばらしい)。

## タスク④-2

### 行動目標(Can do)

緊急事態が発生したときに、周囲に知らせることができる。

★このタスクで引き出すことは、「周りの人に助けを求める」と「状況を説明する」こと。

### ロールカード

あなたは作業場で作業をしています。同僚のワンさんがけがをしました。大きい声で指導員に助けを求めてください。それから、指導員に状況を説明してください。

※あなたから会話を始めてください。

### 会話サンプル 8【評価 3】

受験者 : すみません。鈴木さん。あのう、事故、あります。 …P

評価者 : え?どうしたんですか。

受験者 : あのう… ワンさん…が……

評価者 : ワンさんがどうしましたか。

受験者 : ワンさんが… 手、けがです。 …O

評価者 : あ、そうですか。じゃ、そのままそこにいてください。

受験者 : はい、わかりました。ありがとうございました、た。

P で、事故があったことを伝えているが、助けを求めているかがわかりにくい。そのため、「周りの人に助けを求める」ことはややできたと判定した。ワンさんの状況については、スムーズに言えず、多少手助けを出すことで「手、けがです」となんとか「状況を説明する」ことができた。

⇒評価は4段階中の 3(できた)。

なお、この評価ツールでは、文法について細かい評価をしていない。この受験者は助詞の抜けが目立った。こういった場合は、正確な表現をロールプレイ終了後にフィードバックするか、評価表にコメントを書いて伝える。